

平成27事業年度

# 決算報告書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人新潟大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人 新潟大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	15,927	18,609	2,682	(注1)
施設整備費補助金	1,507	1,588	80	(注2)
補助金等収入	1,084	1,124	39	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73	73	-	
自己収入	32,764	33,252	487	
授業料，入学金及び検定料収入	7,066	6,962	△103	(注4)
附属病院収入	24,745	25,603	858	(注5)
財産処分収入	455	143	△311	(注6)
雑収入	498	543	44	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,675	7,349	3,674	
産学連携等研究収入	2,469	2,576	107	(注8)
寄附金収入	1,205	4,773	3,567	(注9)
引当金取崩	-	12	12	(注10)
長期借入金収入	282	282	△0	(注11)
目的積立金取崩	-	127	127	(注12)
計	55,315	62,420	7,104	
支出				
業務費	45,867	49,124	3,257	
教育研究経費	21,236	22,379	1,142	(注13)
診療経費	24,630	26,745	2,115	(注14)
施設整備費	1,863	1,874	11	(注15)
補助金等	1,084	1,112	27	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,682	3,675	△6	
産学連携等研究費	2,476	2,171	△305	(注17)
寄附金事業費	1,205	1,504	299	(注18)
貸付金	-	2	2	(注19)
長期借入金償還金	2,590	2,572	△18	(注20)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	227	-	△227	(注21)
計	55,315	58,362	3,046	
収入－支出	-	4,057	4,057	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、学内プロジェクト事業など前年度からの繰越額を決算額に計上していること等により、予算額に比して決算額が2,682百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、ライフライン再生の事業が追加交付されたこと等により、予算額に比して決算額が80百万円多額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業）など新たに補助金が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、入学者の減少等により、予算額に比して決算額が103百万円少額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増加等による診療報酬請求額の増加等により、予算額に比して決算額が858百万円多額となっている。
- (注6) 財産処分収入については、当年度に予定していた土地売払いが翌年度以降となったこと及び当年度に支出した前年度からの繰越額143百万円を決算額に計上していることにより、予算額に比して決算額が311百万円少額となっている。
- (注7) 雑収入については、寄宿料の増加等により、予算額に比して決算額が44百万円多額となっている。
- (注8) 産学連携等研究収入については、前年度からの繰越額を決算額に計上していること等により、予算額に比して決算額が107百万円多額となっている。
- (注9) 寄附金収入については、新たな寄附受入れの拡大に努めたこと及び前年度からの繰越額を決算額に計上していること等により、予算額に比して決算額が3,567百万円多額となっている。
- (注10) 引当金取崩については、退職給付引当金を取崩したことにより、予算額に比して決算額が12百万円多額となっている。
- (注11) 長期借入金収入については、基幹・環境整備の事業に係る長期借入金の減額により、予算額に比して決算額が0百万円少額となっている。
- (注12) 目的積立金取崩については、中期計画等に基づき旭町地区課外活動施設・立体駐車場整備事業に使用したことにより、予算額に比して決算額が127百万円多額となっている。
- (注13) 教育研究経費については、前年度からの繰越額を決算額に計上していること等により、予算額に比して決算額が1,142百万円多額となっている。
- (注14) 診療経費については、患者診療経費の増加等により、予算額に比して決算額が2,115百万円多額となっている。
- (注15) 施設整備費については、前年度からの繰越額を決算額に計上したこと等により、予算額に比して決算額が11百万円多額となっている。
- (注16) 補助金等については、大学改革推進等補助金（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業）など新たに補助金が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が27百万円多額となっている。
- (注17) 産学連携等研究費については、複数年契約による受託研究等で翌年度への繰越額が発生していること等により、予算額に比して決算額が305百万円少額となっている。
- (注18) 寄附金事業費については、前年度からの繰越額を決算額に計上していること等により、決算額が299百万円多額となっている。
- (注19) 貸付金については、本学独自の奨学金を本学学生に貸与したことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっている。
- (注20) 長期借入金償還金については、利率が予算積算上と異なることによって生じた差額により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっている。
- (注21) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、土地売払いによる収入の一部を納付する予定としていたところ、当年度に予定していた土地売払いが翌年度以降となったことにより、予算額に比して決算額が227百万円少額となっている。